

令和2年度 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和3年2月2日（火）15時45分～17時00分

出席者：協議会委員6名（うち3名はオンライン参加）、事務局13名

1. 校長挨拶

2. 学校自己診断についての結果報告

肯定率が50%に満たない項目について校長から重点的に説明

特に保護者アンケートでは家庭学習と授業についての肯定率が低い

3. 令和2年度の学校評価説明

主に自己評価について校長から説明

4. 令和3年度の学校経営計画（案）説明

中期目標の改訂について校長から説明

5. 協議

- 学校経営計画に卑らしさが欲しい

→専門コースや選択科目で色々な進路にきめ細かく対応できる普通の普通科であることが卑らしさである。とりわけ、進路未決定者が年々減少してる状況は、取りこぼさず、きめ細かな進路指導が本校の特色でもある。その辺りを学校経営計画でどう表現するかは課題である

- 卑らしさについては、教員間で共有されていないように感じる。まず、教員間で掘り下げていきながら、具現化してはどうか

- 前年度の学校運営協議会で提案されたパンフレットの刷新はどうなったか

→学校運営協議会での意見を反映させた斬新なパンフレットが完成した

- 刷新されたパンフレットは、高校生活をイラスト的にイメージ化されており評価している。

- 学校教育自己診断の分析でそれぞれの項目での関連データはよくできている

教員間で共有し、話し合いの題材にしてはどうか

また、結果については生徒へ開示し、生徒にも考えさせてはどうか

- 家庭学習の少なさが課題であるが、取り組む気を起させる課題づくりなど、現状は、どのように課題を課しているのか

→実際の課題や構想について説明

- 家庭学習の定着は、教員個々の取組に任せるのではなく、生徒に学習目標をしっかりと持たせるとともに、教員側では、何をどのように取り組ませるのかの解析が必要

5. 委員長挨拶